

多くの意見と要望

「市政モニター通信」に寄せられています

幅広い年齢層や地域の皆さんから市政への意見や要望を聞き、市政に反映させるモニター通信制度。本年度も二十三人のモニターから、多くのお便りが寄せられています。今回は、その中から三つを担当課の回答とともに紹介します。

問い合わせは広報広聴課 890 6644へ。

条例で緑ある駐車場



水野 澄さん
元総社町

緑は自然環境の保全に欠かせません。東京都などでは、ヒートアイランド現象の防止などを目的に、ビル屋上の緑化が進められています。

本市では、市街地の拡大などで屋敷林や田畑が減少し、目につくのは広い駐車場です。車社会では駐車場が欠かせません。しかし、舗装した広いスペースとそこに止まっている車の列は、ヒートアイランド現象の要因だと感じます。そこで提案です。条例で一定の面積以上の駐車場に、緑化を義務付けてはどうでしょうか。

【回答します】

敷地面積が千平方 以上の事

業所などが緑地を造った場合、三百万円を限度に経費の三〇%を補助しています。駐車場の緑化を条例にとのことですが、現在は市関係機関や学校など、公共施設の緑化を第一に進めています。民有地の駐車場緑化は、もつしばらく時間をいただきたいと思えます。

緑は、わたしたちの暮らしにさまざまな役割を果たす大切なものですので、今後も緑豊かなまちづくりに努めます。

(公園緑地課)

貸自転車を駅などに



粕川 要さん
総社町桜が丘

本市は、自転車利用促進モデル都市と聞いています。その一環として、市内五つのＪＲ駅と交通の要所に低料金の貸自転車

を設置してはどうでしょうか。

マイバスと併せ、買い物や観光などに利用できて便利です。

自転車は市民に呼び掛ければ、不用品が集まると思います。それを利用して市内各所に駐輪場を整備し、借りたところ以外でも返納できるようにすれば、効果は大きいと思います。

【回答します】

現在、ＪＲ前橋駅では市観光協会が十台の自転車を一日二百円で、中央前橋駅では上毛電鉄利用者を対象に、同駅が八台の

学校選択制について



石原 映子さん
千代田町一丁目

平成十六年度から、小学校が選択制になると聞きました。市がこの方針を進めるメリットは何か、聞きたいと思います。少子化が進む現在、子どもと地域とのつながりが、ますます希薄になるのではないのでしょうか。

市内では不登校児が二百二十三人いるとのこと。学校選択制になると、さらに増えるのでは。また、隣同士がそれぞれ異なる遠くの学校へ通っていたら、付

自転車を無料で貸し出しています。ほかに、銀座通り商店街では、買い物客へのサービスとしてコムネットQが七台の自転車を無料で貸し出しています。

自転車は手軽で身近な乗り物です。鉄道やバスと連携して利用することは、公共交通の利用促進にも効果があると思います。放置自転車の増加や駐輪場整備などの課題もありますが、十分検討し、自転車の有効活用を図りたいと思います。

(交通政策課)

き合いも減り、地域とのかかわりも薄れてしまいます。

【回答します】

市立の小中学校の通学区域は行政区域を基に決めています。指定された学校より別の近い学校へ通わせたいなど、多くの意見や要望が寄せられています。

学校選択は、このような要望の解消や特色ある学校づくりを推進し、教育環境の充実・向上を図るものです。児童生徒と保護者が、自らの意思で教育環境を選べるメリットがあります。

児童生徒と地域とのかかわりについては、自治会や学校、保護者などが連携を強めることが大切です。現在、市では各団体への説明会などを行い、理解と協力をお願いしています。

(学務課)